

年頭のご挨拶



(一社) 大阪金属プレス工業会
代表理事 夏山 享啓

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、平成31年の新年をおだやかに迎えの事とお慶び申し上げます。

平素より当工業会の事業運営に関し会員の皆様方をはじめ、関係行政機関、並びに関連諸団体の方々より多大なる御支援御協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は何の様な1年だったのでしょうか、少し振り返ってみたいと思います。

まず政治の世界では、9月の自民党総裁選で安倍晋三総理が選出されました。任期中に戦後最長の佐藤栄作や戦前の桂太郎を抜き、憲政史上最長の超長期政権が誕生します。今年は夏に参議院選挙が行われます。自民党の一強が続くのか注目されるところでございます。

経済に目を移しますと、我々中小企業製造業者はアベノミクスの恩恵を受けておらず厳しい環境にありますが、大企業の決算をみる限り景気は底堅い印象を受けます。本年も日本経済は米国トランプ政権が仕掛ける貿易摩擦や英国のEU離脱、中国経済の動向など、引き続き海外要因に左右されながらも、1月に戦後最長の景気拡大を記録しつつ、緩やかなプラス成長が継続すると予想されています。

しかしながら、構造的な人手不足の深刻化による労働コストの上昇により、企業業績に悪影響を及ぼす可能性も排除出来ません。

又、10月に予定されています消費増税が景気にどのような影響を与えるのか予想出来ません。もちろん、軽減税率や年金生活者への給付金、教育無償化が予定され、自動車や住宅の税優遇も検討されていますが、増税による消費マインドへの影響は未知数です。

又、本年4月には新元号が発表され、4月30日に天皇陛下退位、平成が終わり5月1日に新天皇陛下即位新元号が始まります。

スポーツの世界では、平昌オリンピックでフィギアスケート男子の羽生結弦選手が 66 年ぶりに連覇を達成した。他 6 個のメダルを獲得したスピードスケートなど、過去最多 13 個のメダルを日本は獲得。大坂なおみ選手が全米オープンテニスで初優勝、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷選手の大活躍も忘れられません。

今年は 9 月にラブビーワールド・カップが開催されます。

そして、来年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。

日本選手の活躍を期待したいと思います。

ところで、本年は亥年で十二支の第 12 番目にあたり、己(つちのと)亥(い)と呼ばれる年回りでございます。諸説いろいろございますが「己亥」にあたる 2019 年は迫る物事に対して、ただひたすら猪突猛進するのではなく、バランスをとりながら、さらなる飛躍に向けて慎重に進んで行く年にしたいものと思っております。

過去の亥年とは言いますと、平成 19 年(2007 年)は石川遼男子ゴルフツアー最年少優勝、新潟中越地震、郵政民営化、「GDP」531.7 兆円、「日経平均株価」15,308 円、「円/ドル」113.12 円、その 12 年前平成 7 年(1995 年)は、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、「GDP」512.5 兆円、「日経平均株価」19,868 円、「円/ドル」102.91 円となっております。

最後に当工業会に話を移したいと思います。(一社)大阪金属プレス工業会は本年も従前よりの事業の継続、すなわち総務・経営委員会担当の国内外の工場視察、本年の海外視察は台湾を予定しております。又、厚生労働省よりの委託事業であります前期技能検定(プレス加工関連)、後期技能検定(金型関連)の実施。

関連諸団体とのコラボによる技術セミナー、人材育成セミナー、各種講演会の開催。総務・経営委員会主催による次世代経営者セミナー。安全・技術委員会主催によるサーボプレスセミナー及びパネルディスカッション(3月予定)。金属プレス加工技術展への積極的参加 PR 活動。会員増強の為に PR 活動の充実。その他、新たな事業も実施して参りたいと思っております。

どうぞ会員の皆様よりの忌憚りの無い御意見、御要望を頂戴出来れば幸いに存じます。

なにはともあれ、会員各位、関係行政機関並びに関連諸団体の皆様方にとって本年がより良い 1 年となります様、そして昨年以上の御支援御協力を賜ります様重ねてお願い申し上げます、大阪金属プレス工業会が更なる飛躍、発展出来る年になる様祈念致しまして年頭のご挨拶にかえさせて頂きます。



知事年頭所感 平成31(2019)年

大阪府知事 松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月、皆さまと心をひとつにして取り組んだ「2025年万博」の開催が決定しました。6月に開催される「G20大阪サミット」とあわせて、世界の人々に大阪の存在を知らしめるまたとないチャンスです。G20を成功させるとともに、2025年万博については、若い人たちをはじめ全世代の参画のもとに、これまでの常識を打ち破る、世界の課題の解決を図るものに創り上げ、成長・発展の流れを確かなものにしていかなければなりません。

そのために、まずは、成長の基盤となる安全・安心のレベルをさらに高めることが最重要です。昨年は全国で大規模な自然災害が頻発し、大阪では大阪府北部を震源とする地震や台風第21号などにより、多大な被害が発生しました。引き続き復旧に向けて着実に取り組みを進めますとともに、今回の相次ぐ自然災害を教訓として災害対応力の強化に取り組んでいきます。

次に、2025年万博が、世界中の人々と“いのち輝く未来社会”を共創する場となるよう、そのスタートの年として取り組みを加速させます。ライフサイエンスの強みを活かした健康・医療関連産業の振興やイノベーションの促進、これらを支える都市機能の充実など、これまでの蓄積を活かしながら、さらなる成長軌道への押し上げを図ります。あわせて、万博のテーマを先取りし、内外への課題解決につながる10歳若返り、SDGsの取り組みを拡大していきます。

G20大阪サミットは、主要先進国・新興国の首脳などが一堂に会し、世界経済をはじめ幅広い議題を扱う大規模な国際会議です。国との緊密な連携のもと、皆さまとともに、来阪される方々を最高のおもてなしでお迎えできるよう準備を進めます。大阪の魅力を高める統合型リゾート(IR)の立地に向けては、これまで他の自治体に先駆けて準備を整えてきました。ギャンブル等依存症などの懸念事項に対して万全

の対策を構築し、「世界最高水準の成長型IR」を核とした国際観光拠点を、大阪・夢洲で実現させたいと考えています。

成長を支える都市機能の充実にも力を注ぎます。リニア中央新幹線と北陸新幹線は、全国と繋がる広域鉄道ネットワークの基幹となるものです。引き続き、新大阪駅までの早期開業を働きかけるとともに、両新幹線の結節により一大ハブとなる新大阪駅およびその周辺地域が、スーパー・メガリージョンの核に相応しい広域拠点となるよう取り組みます。

大阪が強く豊かにそして輝くためには、女性や若者、障がい者などすべての人の力が発揮される社会づくりや将来世代への投資が重要です。市町村・関係機関と連携しながら、女性や若者が活躍するための環境整備として、雇用促進や子育て支援などを展開し、一人ひとりの就職・結婚・出産・子育てなどの希望を実現する取組みを推進するとともに、障がい者の自立と社会参加に向けたさまざまな取組みの充実を図ります。また、子どもの貧困対策や児童虐待の根絶などに全力で取り組むとともに、教育については、一人ひとりの子どもたちが置かれている環境に関わらず、将来に向けてチャレンジする力を育めるよう、私立高等学校授業料の無償化をはじめ、引き続き「すべての子どもの学びの支援」を進めます。

こうした取組みの推進力である府市の連携を確固たるものにするには、副首都・大阪にふさわしい「新たな大都市制度」の実現が不可欠です。私の任期中に、住民の皆さまに「新たな大都市制度」をお示し、選択していただけるように、全力で取り組みます。

私の任期も残すところ一年を切りました。

今年は、これまで築いてきた「変革と挑戦」の姿勢を再認識し、府市が一体となって進めてきた「成長と安全・安心のよき循環による豊かな大阪の実現」に向けた取組みの「総仕上げの年」にしたいと思います。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆さまにとって実りあるすばらしい年となりますようお祈りします。

平成30年秋の国内工場見学会

平成30年11月9日(金)午前7時30分に貸切りバスにて滋賀県へ向けて出発致しました。今回の見学先は宮川バネ工業株式会社(滋賀県東近江市)と 高橋金属株式会社(滋賀県長浜市)の2社を見学訪問致しました。今回の見学会参加者は計31名(事務局含め32名)と沢山の方にご参加頂きました。

【宮川バネ工業株式会社】

創業1953年、資本金4,000万円、売上4.5億円、従業員39名 主に自動車、家電、農業向けに金属小物精密バネ(板バネ)を設計・製造されています。宮川草平社長は大変若く、(39歳-就任5年目)経営方針、自社の強み・弱み、そして特に従業員への思いを熱く語っておられました。労働人口の減少を最大のチャンスと捉え、従業員満足度上げるため全社員との面談、働きやすい職場作りアンケートなどの取組みをご紹介頂きました。インターンシップ受け入れなど新卒採用にも力を入れられ、2016以降は毎年新卒入社採用をされて離職者ゼロとのことでした。工場見学では、順送のプレス機やマルチフォーミング機の優れた加工性能などご説明頂きました。また省エネ活動にも取り組まれておられ、時計などのランプ表示で電力消費が目で見えてわかる仕組みが興味深いものでした。



宮川社長から会社説明



宮川バネ工業の工場見学の様子



宮川社長を囲んで記念撮影

【高橋金属株式会社】

設立1958年、資本金9,832万円、従業員260名、金型設計製作、プレス加工、板金加工、パイプ加工、溶接、組立など設計から完成まで一貫生産をされている会社です。特に技術力は優れており、プレス成形のみで鏡面加工を実現する「鏡面プレス加工技術」や機械加工なしで複雑三次元形状部品加工と同時に金型内ねじ転造(雄ネジ)を高精度にプレスの1ストロークで成形する「型内ねじ転造加工技術」は共に第5回、第7回『ものづくり日本大賞』を受賞されておられます。

会社説明して頂いた西村清司様(執行役員、技術開発部長)はご自身が撮影された写真を交えながら、滋賀県・琵琶湖の地元愛に溢れたお話を頂き、開発製品の製造工程ビデオや製品サンプルなどはその技術力に圧倒されるばかりでした。最後に自社開発された水系洗浄機のご説明がありました。電解イオン水による洗浄機は客先仕様のオーダーメイド品で累計3,000台の出荷実績があり、環境にやさしいことが特徴ですが、開発の経緯には琵琶湖の環境問題への取組みがあったとのことでした。

工場見学は広大な敷地に大きな工場が3棟あり、事務所・廊下・トイレはもとより製造現場も大変きれいでした。安全に関する教育をする「ものづくり道場」なども見学させて頂き、あらゆる規模の大きさに驚くばかりでした。一番驚いたことは水陸両用バスを開発されており、近い将来は自社開発バスを琵琶湖やハウステンボスなどで運行する目標だそうです。(現在でも高橋金属のグループ会社では物流・観光バス事業をされており琵琶湖で水陸両用バスの運行もされておられるそうです。)



高橋金属の会社説明



高橋金属の会社説明



西村様を囲んで記念撮影

次世代経営者とともに、未来に繋ぐセミナー

日 時:平成30年11月22日(木)午後4時～8時30分

場 所:たかつガーデン「鈴蘭」、百楽(北京料理)

内 容:1部 講演会 講師:伊藤澄夫氏(㈱伊藤製作所 代表取締役)、パネルディスカッション

2部 懇親交流会

参 加 者:1部 23名、2部 22名(㈱伊藤製作所から伊藤澄夫社長他1名を含む)

大阪金属プレス工業会のパートナー宣言の一つである『未来につなぐ』をテーマに、経営者、次世代経営者候補及び幹部社員の方に向けて、第2回「次世代経営者とともに、未来に繋ぐセミナー」を開催致しました。

講演会講師の伊藤澄夫氏は伊藤製作所へ入社以来 金型製作に専念し、高度の金型技術で高収益企業を築きあげました。国内の従業員が 100 人程度でありながら、いち早く海外進出に奔走され、独自の考えから親日国であるフィリピンとインドネシアに進出をされ、社員を大切にする日本的経営を貫き、現地社員と深い信頼関係を築きました。これら海外進出の苦労話や従業員への接し方、日本政府、行政、税制への苦言など、中小企業の若手経営者にとって大変参考になる講演会でした。

パネルディスカッションでは若手経営者であるパネラーの経営の悩みや関西特有の状況などについて意見交換があり、伊藤氏からは的確な助言を頂くことが出来ました。

最後に場所を移動して、伊藤氏を中心に交流を深めるため懇親会を開催いたしました。ここでも参加者のひとり一人がご自身の意見や感想を述べ、経営の悩みを伊藤氏に相談するなど通常の懇親会とは違った大変有意義な会合となりました。日本の製造業『モノづくり』を絶やしてはいけぬ。次の世代を担う優秀な若者の活躍を切に期待したいという共通の思いを持ち、セミナーを終了致しました。



伊藤澄夫氏の講演会



講演会の様子



パネルディスカッションの様子



懇親会の様子

H30年 忘年会

平成30年12月5日(水)18時30分から
シェラトン都ホテル大阪にて当工業会主催の忘
年会を開催いたしました。多数の会員様にご参
加を頂き有難うございました。

初めてご参加頂いた方も多数おられ、特に今年ご入会の新規会員様の
平金物(株)様と(株)岡野製作所様をご紹介し、ご挨拶を頂きました。ご歓談中は名刺交換や情報交換も活
発に行われ、美味しい日本食と美味しいお酒を頂きながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



夏山会長の
ご挨拶



新規会員様の
ご挨拶

平金物(株)
取締役工場長
音田様(左)と
(株)岡野製作所
常務取締役
太田様(右)



来年も会員の皆様のご参
加をお待ちしています！

理事会・委員会 報告

| 委員会、開催日時、場所 | 内 容 | 参加者 | 写 真 |
|---|--|-------------------|---|
| <p>第15回 理事会 10月25日 18時 たかつガーデン</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府から省エネ関連紹介 ・平成30年度上期決算報告 ・同 上期会員異動状況報告 ・総務・経営委員会から報告 ・安全・技術委員会から報告 ・次期役員改選について | <p>理事 13名</p> |  |
| <p>第2回 安全・技術委員会 11月7日 18時 工業会事務局</p> | <p>サーボプレスセミナー企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール、会場 ・案内文、役割分担 ・準備品、会費について ・その他意見等 | <p>7名</p> |  |
| <p>第5回 総務・経営委員会 12月3日 18時30分 工業会事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国内工場見学会報告 ・次世代経営者セミナー報告 ・海外視察(台湾)企画 ・サーボプレスセミナーについて安全・技術委員会経過報告 ・その他 | <p>6名</p> |  |
| <p>後期技能検定会議 12月6日 18時 工業会事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・後期技能検定の受検予定者スケジュールなどの検討 ・事前講習会(練習会) ・実技試験運営上の注意 事前準備など | <p>6名</p> |  |

※参加者名簿、内容の詳細は当会HPの事業報告ページに記載の議事録をご覧ください。

青年部会 活動報告

次代を担う若手経営者及び経営幹部の活動の場として青年部会があります。青年部会で毎月企画する事業活動(情報交換会、講演会、セミナー、見学会など)を通じて、識見・教養を高め、また家族会や他地区の青年部会との交流会などで会員相互の親睦を深めて頂く場としてご利用頂いています。



< 講師例会 10/16 5名 >



< パナソニック工場見学会 11/20 7名 >



< パナソニックと討論会 11/20 7名 >



< 次世代経営者セミナー 11/22 3名 >

10月16日、講師に徳原俊浩氏(東京海上日動あんしん生命保険)他2名をお招きして『キャッシュをトコト残す具体策』をテーマに講義をして頂きました。若手経営者である青年部会メンバーにとって、感激するほどの大変参考になるお話でした。

11月20日、パナソニックアプライアンス社神戸工場へ工場見学会を実施しました。仕事上の取引がある会員も多く、プレス業界の現状と課題のプレゼン発表を行ない、最後はパナソニックのメンバーとディスカッションを行ない、大変有意義な見学会となりました。

11月22日、「次世代経営者とともに、未来につなぐセミナー」に参加致しました。伊藤澄夫氏(株)伊藤製作所 代表取締役)の講演は、伊藤氏の経験談や従業員との信頼関係の築き方、若手経営者への助言など大変熱いご講演でした。講演の後はパネルディスカッションに参加して意見交換を行ないました。その後の懇親会でも経営の悩みを相談するなど大変有意義なセミナーでした。

青年部ではこれら有意義な活動を行なうべく、随時メンバーを募集しております。ご参加をご希望の方は工業会事務局までお問い合わせ下さい。

平成31年 新春特別講演会・新年賀詞交歓会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成31年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬具

記

【日 時】平成31年1月25日(金)

第1部 新春特別講演会 16:00~17:00

講師：竹原信夫氏 ((有限会社産業情報化新聞社 代表取締役)

日本一明るい経済新聞編集長

※詳細プロフィールは別紙をご参考下さい。

演題：「経済のゲンキを掘り起こす 元気経営の“ヒミツ”はこれだ！」

第2部 新年賀詞交歓会 17:15~19:15

【会 場】 ヴィアーレ大阪(大阪市中央区安土町3丁目1-3)「本町」駅1号出口から徒歩3分

第1部 新春特別講演会 2階「パールルーム」

第2部 新年賀詞交歓会 2階「エメラルドルーム」

【参加費】 第1部 新春特別講演会 無料 (振込先) 三菱UFJ銀行 上本町支店

第2部 賀詞交歓会 10,000円/人 口座番号 普通 0487575

※1/21 までにお振込みをお願い致します (一社) 大阪金属プレス工業会

(一社) 大阪金属プレス工業会宛

Fax : 06-6762-7633 E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

平成31年 新春特別講演会・新年賀詞交換会 参加申込書

| 会社名 | ○ 印お願いします | | |
|-----|-----------|-----|-------|
| 役職名 | 氏名 | 講演会 | 賀詞交換会 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

<お支払い期限> 1月21日までにお振込みをお願い致します！

<新春特別講演会 講師ご紹介>

竹原信夫(たけはら のぶお)氏

有限会社 産業情報化新聞社 代表取締役 (日本一明るい経済新聞編集長)
大阪大学大学院工学研究科非常勤講師(知能・機能創成工学専攻ベンチャービジネス論)
四條畷学園大学・短期大学客員教授
吉本興業 吉本お笑い総合研究所 コンサルティング・フェロー

(プロフィール)

- ・昭和 23 年 10 月 29 日生まれ 大阪府出身
- ・昭和 46 年 3 月 関西大学社会学部マスコミ学科卒
- ・昭和 46 年 4 月 フジサンケイグループ日本工業新聞入社
その後、大阪で中小企業担当、繊維、鉄鋼、化学、
財界、金融などを担当
- ・平成 2 年 4 月 大阪経済部次長(デスク)
- ・平成 9 年 2 月～平成 12 年 10 月末 大阪経済部長
- ・平成 13 年 1 月から独立、産業情報化新聞社代表に、
年間約 500 人の中小企業経営者に取材、
月刊紙「日本一明るい経済新聞」を発行する。
- ・毎日新聞紙面研究会研究員(2008 年度)
- ・大阪商工会議所「大阪・商店街ネットワーク会議」
年間コーディネーター
- ・大阪産業創造館の「マスコミ戦略セミナー」コーディネーター
- ・平成 26 年 10 月 近畿ブロック商工会経営支援事例発表大会審査委員長
- ・近畿経済産業局「関西ものづくり新選2015」「同 2016」審査委員 などを務める



(テレビ・ラジオ出演)

- ・平成 16 年 5 月～平成 21 年 3 月 MBSラジオ 坂東英二「金曜生 BanBan」にて『経済セミナー』
同 MBSラジオ「さてはトコトン菊水丸」にて関西経済を解説する『さてトコゼミナール』に出演
- ・平成 23 年 1 月～平成 23 年 4 月 ラジオ大阪「竹原信夫の関西企業みんな元気印！」に出演
- ・平成 18 年 4 月～平成 21 年 3 月 毎日放送テレビ「ちちんぷいぷい」で元気な中小企業とユニークな
社長を紹介するコーナーにレギュラー出演
- ・平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月 NHKテレビ「もっともっと関西」にレギュラー出演、引き続き、
平成 18 年 4 月からNHKテレビ「関西ニュース一番」にレギュラー出演
- ・平成 25 年 3 月 関西テレビ「ジャルジャル経済」、同 5 月 関西テレビ「NMBとまなぶくん」に出演
- ・平成 30 年 8 月 10 日、17 日、24 日の 3 週にわたってNHKラジオ「関西発ラジオ深夜便」で「頑張れ！中小企業」
をテーマに ラジオエッセイが放送

(現在)

- ・NHKテレビ「おはよう関西」元気な中小企業コーナーに出演中
- ・平成 27 年 8 月から東洋経済オンライン(ビジネス)に執筆中
- ・平成 27 年 10 月からMBSラジオ「日本一明るい経済電波新聞」に出演中
- ・関西仕事コンソーシアム事務局長
- ・「KANSAI仕事づくりの会」事務局長
- ・国連環境NGO(財)オイスカ参与などを歴任

(出版)

「活力経済の秘密シリーズ」(共著)「未来への挑戦・変革に挑む中小企業」(共著)など

あと残り少し 空きがございます

サーボプレスのこと、知りたい人集まれ！

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 主催

さて、大阪金属プレス工業会 安全・技術委員会が中心となり、「サーボプレス機の特性と
その活用」をテーマに技術セミナーを下記の通り企画致しました。

我々金属プレス加工業において、生産性や品質の向上、金型の耐久性、そしてIoT を利用
した生産管理には、サーボプレス機の導入は避けて通れません。

しかしながら、そのサーボプレス機の特性を理解し、有効的に活用されている企業様は、
いまだ少ないのが現状ではないかと思っております。

今回のセミナーでは、サーボプレスの学識者である、大阪産業技術研究所の白川先生にまず
ご講演頂き、その後サーボプレス機を実際導入されている企業経営者・プレス機メーカーを交
えて、長所と短所を鋭く切り込んだパネルディスカッションを行います。

既に導入済みのお会社も、また導入を検討中のお会社も、この技術セミナーに参加して頂
き、自社のプレス加工における「ヒラメキ」の一助にして頂きたく思っております。

リニューアルした安全・技術委員会が、自信を持ってお送りするセミナーです。

是非とも多くの経営者・管理者・技術者、生産現場の方々に、ご参加をお願いいたします。

- 開 催 : 2019年 3月19日(火曜日)
会 場 : たかつガーデン (大阪市天王寺区東高津町7-11 地図別紙参照)
内 容 : 第1部 16:00~16:30 白川信彦先生による基礎解説
第2部 16:30~17:15 メーカー3社(アイダ、アマダ、コマツ産機株)
によるプレゼンテーション
第3部 17:30~19:00 パネルディスカッション
(パネリスト予定者)
白川信彦先生(大阪産業技術研究所 金属材料研究部 部長・総括研究員)
阪口雄次様(株式会社阪口製作所 代表取締役会長)
上田整弘様(上田産業株式会社 代表取締役社長)
川口克司様(株式会社エスケイケイ 顧問 元技術部長)
サーボプレス機メーカー3社(アイダ、アマダ、コマツ産機株)から各1名 合計7名

会員の皆様を 『**守り育てる**』
会員の皆様と一緒に 『**未来につなぐ**』

大阪金属プレス工業会 創立50周年ビジョン
会員パートナー宣言

参加費 : 無 料 (大阪金属プレス工業会 会員企業) (※非会員のご参加は 10,000 円/一人)
 定 員 : 50名 ※定員になり次第締め切ります
 締 切 : 平成 31 年 1 月 31 日 (木) 一次締め切りとさせていただきます
 申込方法 : 下記に必要な事項を記入の上、FAXにてお申込み下さい。

受付致しましたら、受付確認書をFAX返送致します。2,3日してFAX返信が届かない場合は、再度FAX頂くか、事務局へ電話をして下さい、(TEL:06-6762-8629)

＜参加申込書＞ 申込期限 1月31日(木)

大阪金属プレス工業会事務局行き FAX:06-6762-7633

会社名 _____ 連絡用FAX _____

お役職 _____ お名前 _____

お役職 _____ お名前 _____

お役職 _____ お名前 _____

会場案内図 : たかつガーデン 近鉄大阪上本町駅 徒歩 3分
 大阪メトロ 谷町九丁目駅 徒歩 7分



会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら

会員各社の社員様の育成のお手伝いをし

各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が

次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。

会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中

50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され

それが大阪のプレス業界を活性化して

将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同